

議会運営委員会

佐野 和彦 委員長コメント

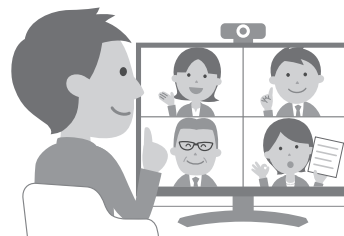
新型コロナウイルス感染症の再拡大の兆候が出ており、第8波と言われている中、11月定例会を迎えました。

議会運営委員会においては、現状を踏まえた適切な議会運営を委員全員で考え、無事に終えることができました。また、一般質問では20人もの議員が登壇し、当局を質しました。

また、議会運営の課題となっている、委員会のオンライン開催については、委員会条例や会議規則の一部を改正し、感染症拡大時や災害時にオンラインで開催できるように協議をしているところです。

もう一つの課題となっている、富士宮市議会の個人情報保護に関する条例についても、各会派から検討結果を持ち寄り、協議を進めているところです。

このように多くの課題がありますが、委員全員で乗り切り、議会が市民の笑顔のためにあることを念頭に置き、進めていきます。



総務文教委員会

齋藤 和文 委員長コメント

11月定例会では、「不登校児童生徒に対して、多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める請願が出され、審査を付託されました。

請願者より、児童生徒にあった学習環境を保障する教育機会確保法の説明、不登校に対する思い、そしてそれぞれにあった居場所を作ることの重要性などの説明がありました。その後、委員から請願者へ、フリースクール等の定義、市内や近隣市のフリースクール等の現状の質疑がありました。また、委員から教育委員会へは、フリースクールはあるべきなのか、作りたいのか？との質疑があり、利用したい保護者や子どもがいれば、そこが自分の居場所ということで、必要な場所になるのだろうと回答がありました。その他、本当に多くの意見質疑が出されました。その後全員異議なく、本請願については採択すべきものと委員会では決定を致しました。

続いて、富士宮市個人情報の保護に関する法律施行条例制定についても、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

所管事務調査では、『白糸ノ滝』の整備状況、今後の課題、整備基本計画の改定に関する説明と現地調査が行われました。

